



TITLE:

大阪プラネタリウムの話題：一般用

AUTHOR(S):

高城

CITATION:

高城. 大阪プラネタリウムの話題：一般用. 天界 1942, 22(249): 77-77

ISSUE DATE:

1942-02-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168348>

RIGHT:

に、宇宙にはガス星霧や、暗黒星霧があつて、其のために、銀河外の渦巻き星霧の見える天空と見えない天空との境界線をクツキリと表はしてゐる。この二つの原因により、吾々の銀河宇宙の直徑が、以前には、2倍も3倍も大きいものと誤解されてゐたのである。

星の光を吸收する微粒子の粒々の大きさは、眼に見える光の波長の程度であるが、しかし、暗黒星霧の或る部分では、一般吸收作用を起すほどに大粒のものもある。又、吸收物質の分布は非常に不規則であつて、ために、多くの觀測者たちの結果が、一致しないことが多い。故に、真相を知るためには、今後更に徹底的に夥しい觀測が行はれなければならない。

大阪プラネタリウムの話題 (一般用)

1月 地球とガリレイ

ガリレイと地動説、地球の身體検査

2月 歴史の夜空

建國の空や日本歴史上の夜空(歳差現象)

3月 戦線の星

北滿、佛印、赤道戦線の星空、天文の實用方面

4月 曉の“美の女神”

金星の神話、遊星の世界など

5月 無限の生命

太陽の解剖、人生と太陽黒點の神祕

6月 ドイツの「星と生活」

科學する國ドイツの天文、天文の教育と實用化の實例

7月 海と星

航海や航空に天文は重要、又潮汐の説明

8月 太陽の故郷(ふるさと)

天に輝く百億の太陽、星の大都市、銀河、宇宙など

9月 北極の日食

北極の星空、九月10日北極方面の部分日食

10月 大阪(なには)と天文(ほし)

大阪の曆學者高橋至時、間長涯とプラネタリウム

11月 百年後の今日

プラネタリウムの100年後の正確な遊星運行圖及び一萬年後の歳差

12月 二十一の天の燈臺

21の一等星の物理と物語、戸籍調べ

(高城生)